

2022年7月

2022年度

四万十町地域イノベーター養成講座

第4回 ビジュアルレポート

高知大学 地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

実施概要

- 日 時：令和4年7月31日（日） 10時30分～18時00分
- 会 場：十和地域振興局 2階 調理室・ホール
- 主 催：四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容：「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全5回の地域イノベーター養成講座を開催。
一人ひとりが自分事として、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。

【タイムライン】

Time	Theme	Contents
10:30-12:00	料理作り	<ul style="list-style-type: none"> • 『鬼丸食堂』主宰 鬼丸美穂氏による料理講座
12:00-13:00	実食	<ul style="list-style-type: none"> • 作った料理を実食
13:00-13:20	チェックイン	<ul style="list-style-type: none"> • 今の気持ち
13:20-15:00	キーノートスピーチ	<ul style="list-style-type: none"> • 鬼丸美穂氏（『鬼丸食堂』主宰 / 料理研究家 / 副業料理人）
15:00-18:00	レゴ®シリアスプレイ®ワーク	<ul style="list-style-type: none"> • レゴ® シリアスプレイ®(以下、LSP)を活用した未来描写

開催概要

令和4年度 第6期生募集 地域イノベーター 養成講座

**自分と向き合い、
仲間と共に一歩踏み出す**

四万十町では、何か新しいことを始めてみたい、地域のために何かしてみたい、という方などを対象に地域イノベーター養成講座を開催しています。アイデア実現のための仲間づくりと学びの場を提供するだけでなく、やりたいことがまだない方やいろいろな学びを得たい方にもおすすめです。年齢や所属は問いませんので、お気軽にご参加ください。
主催：四万十町 協力：高知大学地域協働学部 コミュニティデザイン研究室

回覧



スケジュール・内容

※時刻や内容は多少変更する可能性があります。あらかじめご了承ください

- 1** 4/23(土) 16:00-19:00 ~ 4/24(日) 10:00-12:00 **自分の想いを掘り下げ、「本当にやりたいこと(will)」を見つけ出す**

自分のライフストーリーを振り返り、対話を通じて「本当にやりたいこと(will)」の種を見つけていきます。
- 2** 5/28(土) 13:00-18:00 **自分と紐づいたマイプロジェクトを描く**



馬場 加奈子氏 (株式会社サクラッド代表取締役/NPO法人学生履修士協会理事長)

香川県生まれ、10年間、陸上競技に励み、高校3年時に円盤投げで「はまなす団体」優勝、生命保険会社勤務を経て、2010年に全国初の学生履修士店「さくらや」を起業。各種メディアに取り上げられ、「さくらや」の運営で地域の子育て家庭を支援したいとの声で脱サラ、「さくらやパートナー」を募集開始。1日5時間・週4日営業でも成立立つビジネススタイルが子育て中の母さんにも取り組みやすいと評判になり、北海道から沖縄まで全国に店舗を拡大。自ら、経験を活かし、起業家やSDGsをテーマとしたセミナー等で「地域共感ビジネス」を講演し、好評を得ている。
- 3** 6/25(土) 13:00-18:00 **創り出したい世界をデザインする**



丑田 俊輔氏 (ハバタク株式会社 代表取締役)

福島県会津若松市生まれ、慶応大学商学部在学中にプラットフォームワークス課の立ち上げに参画。公共施設をまちづくり拠点として再生する「ちよだプラットフォームスクエア」、日本IBMを経て、2010年にハバタクを創業。国内外を舞台に様々な教育事業を展開。2014年、秋田県五城目町に移住。田舎発起事業家を育て「ドチャペン」、古民家を舞台に地域を繋ぐ「シェアビレッジ」、退任施設を遊び場化する「たのめろびら」、住民参加型小学校建設「ふるふる学校」支援等を推進。2021年、共創型コミュニティプラットフォーム「Share Village」を公開。
- 4** 7/31(日) 13:00-18:00 **小さな一歩を踏み出してみる**



鬼丸 美穂氏 (料理研究家/副業料理人)

北海道出身。大学卒業後、上京し、IT系の仕事に従事。2010年9月、「鬼丸食堂」として出張料理やケータリングを始める。同年11月より、満足した分だけお支払いいただく投げ銭形式の食堂イベントを都内各所で不定期に開催。おみやげや体験の価値を味わった方自身が作る、お金以外の価値もあるもので支払うことも可能にすることで、価値とお金について考えていただくことを目的とした実践的食堂イベント「現在在東京都武蔵小金井市の「八方知人」にて、不定期開催。2016年10月より、東京・大手町で三軒茶房が運営する「ラボフューチャー」3×3 Lab Future「さんさんらばフューチャー」のキッチンコネクターとして、キッチンを中心としたコミュニケーション促進、イベント開催を推進。キッチン利用イベントのサポートを行う。テーマやゲストのストーリーに合わせて、地域の食材を使った郷土料理や世界各国の料理を再現することを得意とする料理研究家。
- 5** 8/27(土) 13:00-18:00 **最終報告会**

5か月間のアクションと気づきを共有します。

受講生の声

坂山 陸さん

全4回の講座では、様々な経験の講師の方たちから、現場を経験されてきた人ならではの興味深い講義を聞くことができました。実際に行ってきた事例に沿って説明してくれるので、自分のプロジェクトの参考になること間違いなしです！

山本 由紀さん

チャレンジすることが好きで、職場でいかせてもらったイノベーター講習でした。自分自身を俯瞰してみる、過去の自分と向き合う、初めてのことに戸惑いながらも、初めてのことに戸惑いながらも、プロジェクトをどう進めればいいのか、半年の間でたくさん悩み考えました。大学生の若いパワーをもらい、受講生とたくさん語り、貴重な体験をすることができ、本当に参加して良かったです。

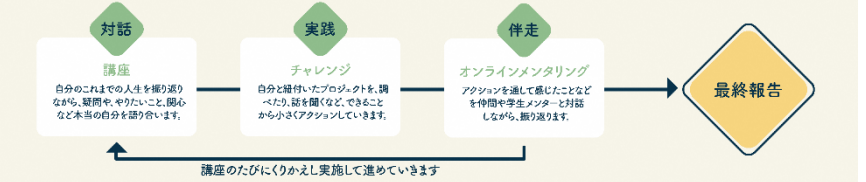
正岡 千佳さん

「自分のことが分からない」、講座当初はそんな自分にモヤモヤしていました。自身の正しい立ち回りを振り返り共有していくことで、やりたいことや目標ができました。イノベーター講座は、本音で語り合える空間で今まで気付けなかった発見や、新たな自分に出会える機会だと思います。受けて損はないです！

宮崎 崎地さん

全国から来てくださる色々な経歴の講師の方の話を聞いて、自分のやりたいことの実現のために何をすべきなのか、何をやっているのかという話を知ることができました。また、学生メンバーとの毎回のミーティングを通じて軌道修正しながら、自分が何をやっていきたいのか、何をさせたいのかを考え、言葉にすることができました。

講座の流れ



- 募集人員 10名程度を予定
- 受講料 ①町内に住所がある方…5,000円 ②町外に住所がある方…10,000円
- 講師 高知大学 地域協働学部 須藤 順 先生
- 応募書類 右下のQRコードの応募フォームからご応募していただくか、エントリーシートに必要事項を記入して、下記のいずれかの方法でご応募ください。
 - ① 持参の場合は、人材育成推進センター、もしくは各地域振興局に**4月15日(金)**までに提出してください。
 - ② 郵送、メール、もしくはFAXで人材育成推進センターまでお送りください。なお、エントリーシートは、四万十町ホームページからもダウンロードできます。
- 受講資格 四万十町で活動する意思のある方、並びに、四万十町の資源を活用して活動する意思のある方で、原則として、全講座に参加できる方を対象としています。
- 受講料納付方法 受講料は、第1回目の講座の時にご持参ください。
- その他 講座内容や開催場所(四万十町内)等の詳細については、受講生の方に通知いたします。
- 「四万十ビジネスプランコンテスト」への応募を検討されている方は、イノベーター養成講座を受講することで、長い時間をかけて自分のプランをじっくり考えることができます。また、指定講座のひとつとして、当該講座を受講することで、「**四万十ビジネスプランコンテスト**」1次審査が免除されます。
- サポーター制度 当該講座を修了された方は、次年度以降サポーターとして、**無料**でご参加いただけます。

(注) 各回の間に、具体的なアクション(調査など)を行っていただくことに加え、事務局および運営チームとの相談会を適宜開催し、プロジェクトの実現に向けたサポートを行います。

事務局

四万十町役場人材育成推進センター
(担当:横山 光一(吉村 愛))

〒786-8501
高知県高知郡四万十町掛川3番7号

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp
TEL 0880-22-3163
FAX 0880-22-3345

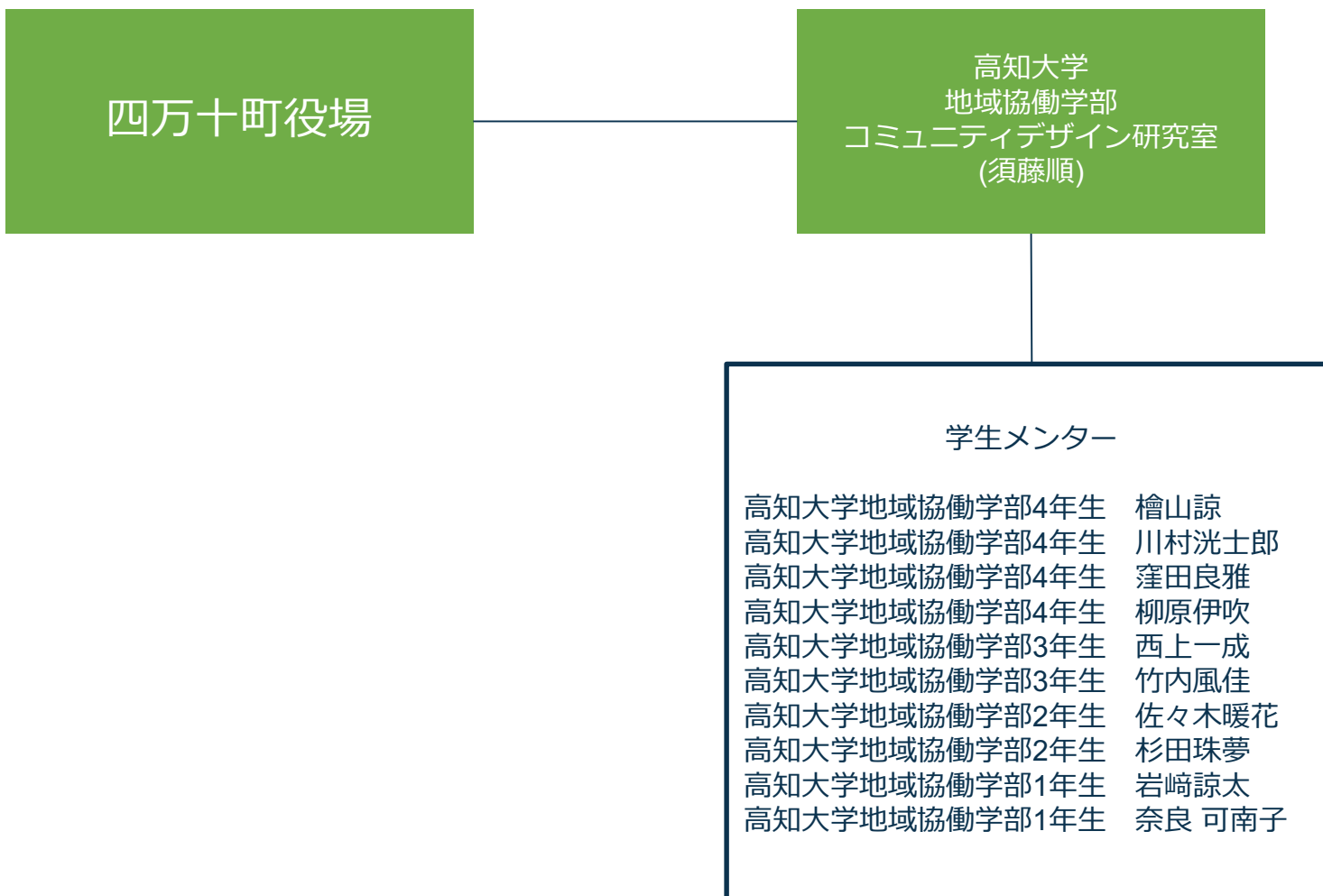
お申込みはこちら



令和4年度 地域イノベーター養成講座エントリーシート

氏名		フリガナ	
職業	電話	メールアドレス	
年齢	性別	住所	
あなたが現時点で思い描いているプロジェクトや、四万十町でやってみたいことがあればご記入ください。			

実施体制



**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

目指すべきゴール

1

一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す

2

“ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す

3

ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

場のルール

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

マイプロジェクトとは？

自分に基づいた（M y）

「何かを、プロジェクトの形にして（pjt）やってみる」
ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

自らの経験の中から、
自分のミッションを生み出していく

マイプロで活用するシート

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日: 場所:
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ストーリー 昔 (~小学校)	人生グラフ:横軸は年で、縦軸はイキイキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、読んでいた時を見える化しよう!	
(~中学・高校)		
(~専門・大学)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
(~現在)		
今	マイプロジェクトの源泉へ	

← me編シート

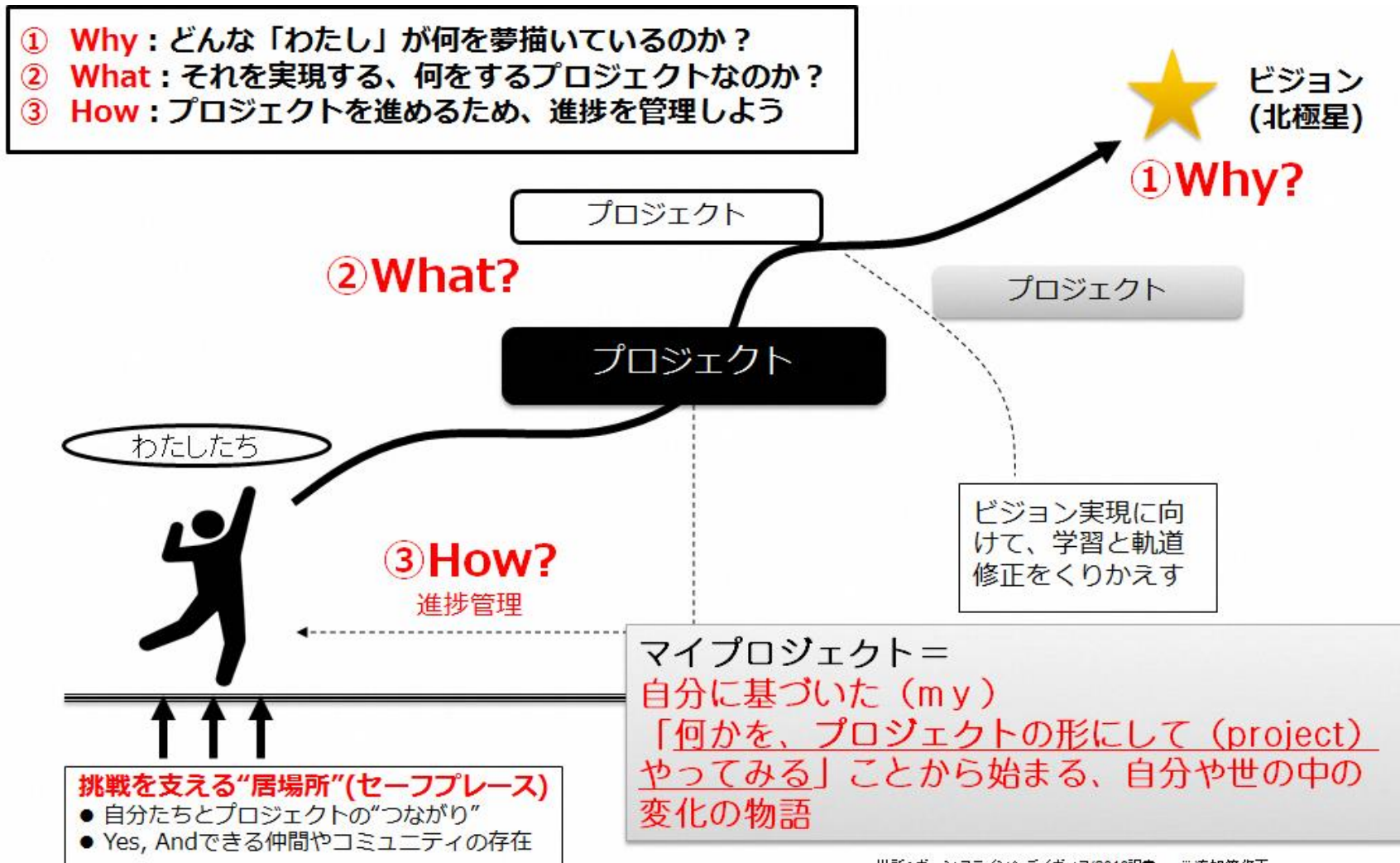
- ・自分のライフヒストリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

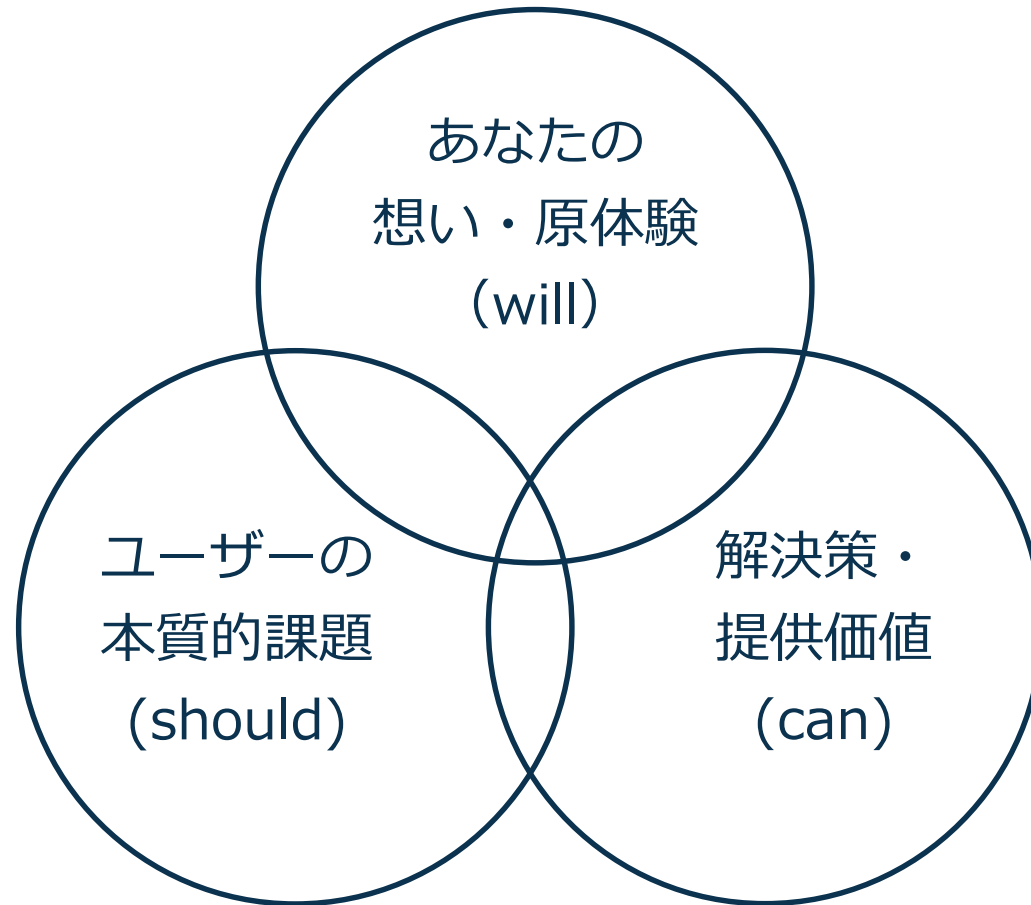
PROJECT編	
わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で!	
■実践したいプロジェクトの概要	
■「やってみたい!」と思った、理由や背景、原体験	■「誰」にどんな価値を生み出しますか?

マイプロが目指すイメージ



出所: ボーンSTEIN& デイヴィス(2010)訳書, p.104 追加筆修正
 ※ 井上英文作成

ポイント：徹底して自分のwillに向き合う



講座の様子



昼食調理

今回の講師である鬼丸さんの指導のもと、受講生や学生メンターと昼食を作った。昼食のメインは四万十ポークを使った生姜焼きで、グループで作業を分担しながら賑やかに調理をした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、食事の際には黙食で出来上がった料理を味わい、午後からの講座に向けて英気を養った。



昼食のメニュー



調理の様子①



受講生の様子



調理の様子②



昼食の様子



調理の様子③

チェックイン

今の気持ちについて参加者一人ひとり話した。料理講座を行い、昼食を食べた後であったことから、「眠気に負けず、講座を頑張りたい」といった声が多く聞かれた。午前中の料理講座があったことから、いつも以上に賑やかな雰囲気ですべての講座をスタートすることができた。



チェックインの様子



チェックインの様子



チェックインの様子（学生）



説明を聞く様子



須藤からのレクチャー



説明を聞く様子

キーノートスピーチ

キーノートスピーチでは、鬼丸美穂氏より「小さな一歩を踏み出してみる」についての講義が行われた。

鬼丸美穂（『鬼丸食堂』主宰 / 料理研究家 / 副業料理人）

北海道出身。大学卒業後、上京し、IT系の仕事に従事。2010年9月、『鬼丸食堂』として出張料理やケータリングを始める。同年11月より、満足した分だけお支払いいただく投げ銭形式の食堂イベントを都内各所で不定期に開催。ものや体験の価値を味わったり体験した方自身が決め、お金以外の価値あるもので支払うことも可能にすることで、価値とお金について考えていただくことを目的とした実験的食堂イベント現在は東京都武蔵小金井市の「八方知人」にて、不定期開催。2016年10月より、東京・大手町で三菱地所が運営するサードプレイス「3×3 Lab Future(さんさんらぼ フューチャー)」のキッチンコーディネーターとして、キッチンを中心としたコミュニケーション促進、イベント懇親会料理提供、キッチン利用イベントのサポートを行う。テーマやゲストのストーリーに合わせて、地域の食材を使った郷土料理や世界各国の料理を再現することを得意とする料理研究家。

◆気の向くままに生きてみる

鬼丸氏は大学卒業後は就職し、IT関連の仕事を行っていた。そこで出会ったゲームクリエイターの人たちと仲良くなり、徐々に活動の幅を広げていくなかで、「あなたは何に特化して生きていくの」と詰められたことが大きなきっかけとなり、「鬼丸食堂」などの取り組みを始めた。その経験から、追い詰められて自分の選択をするのも悪くないと彼女は語る。

食に関連した仕事を始め、様々な経験をしていくなかで得た考えや価値観についていくつか紹介してくれた。

まず一つ目が、「謎の行動を大切にしてみる」ということである。今は意味や理由がわからなくても、後になってそこで培ったものの価値が見えてきたり、その行動の繋がりが見えてくるといった効果を生み出す。

次に、「人の言葉に乗せられてみる」といった考えである。鬼丸氏が料理を始めたきっかけの一つとして、「料理を仕事にしたらいいよ」という友達の言葉の影響も大きかった。自分一人では行動に踏み出せないことを、人の言葉に乗せられてやってみることは大切だと語る。

その次に「ちょっとずつ好きな仕事を増やしていく」ということである。舞い込んできた仕事を一つずつ大事にして続けていくことで、様々な話が舞い込んできたという経験からの考えである。最後に、『『うまいかない』と言われても自分を信じてやってみよう』ということである。鬼丸食堂はお客さんが食べた食事に対して払いたい額だけお支払いするというシステムで運営していることもあり、上手くいくのか心配されることもある。そのような状況でも、様々な局面に対してプラスでいることが大切であったと語る。また、失敗ののちに成功を得ることができれば、失敗は失敗でなくなるとも話してくれた。

◆副業的生き方

鬼丸氏は、自分の「楽しい」を大切にしながら日々様々な活動を行なっている。そのなかでさまざまな人や分野と関わり、多面性を持ちながら生きていくことの重要性を説く。何か行動に移す際のきっかけは自分の「楽しい」という感情から始まり、始め方は趣味や遊びからでも、仕事からでも何であっていても良いと語り、最後を締めくくった。



講演をする鬼丸氏



鬼丸氏の話聞く受講生

レゴ®シリアスプレイ®ワーク

今回は個人が考えているマイプロジェクトについて、テーマに基づいて作品を完成させた。今回のテーマは「ターゲット」、「抱える課題」、「あなたのWHY」の3つで、作品について対話をした。お互いに気づきや意見を記載したメモを共有することで、自分の視点だけでなく、それぞれのマイプロについてより考えが深まる時間となった。



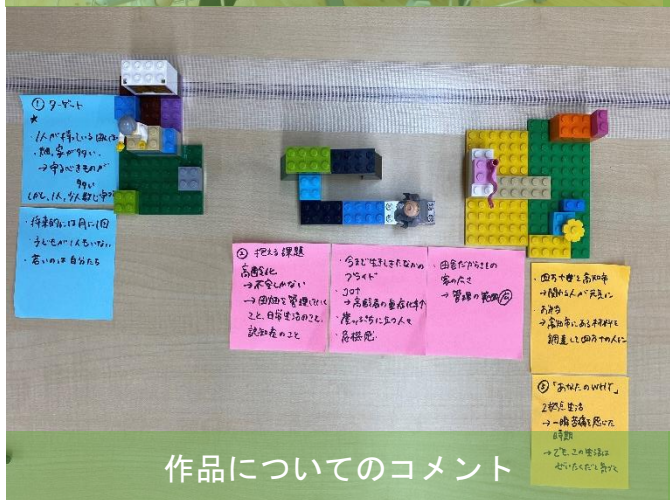
説明中の会場の様子



受講生の作品



作品を作っている様子



作品についてのコメント



作成中の様子



コメント交換の様子

マイプロの進め方

① マイプロシート(me & pjt編)をみんなの前でシェア



② みんなからフィードバック



③ プレゼントカードを書いて渡す



④ アクションを試してみる

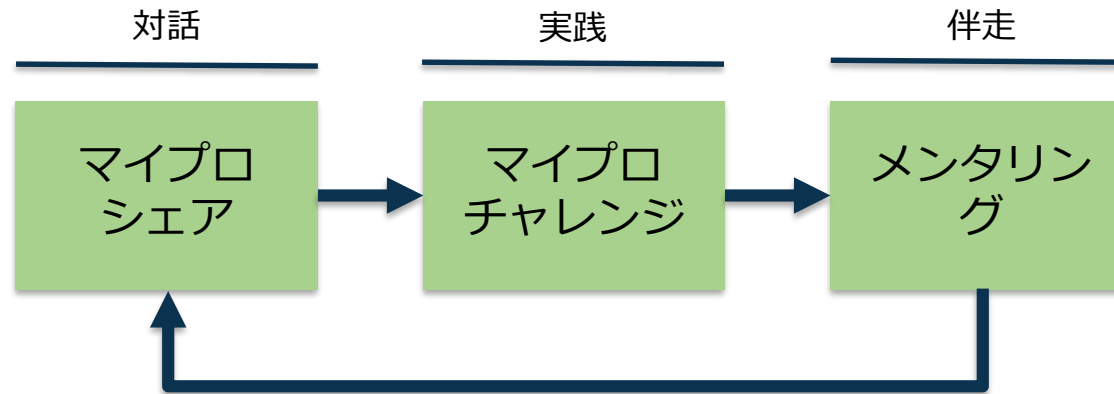


⑤ 気づきを踏まえてシートを書き換える



※みんなで支え合いながら、
このサイクルを超高速で回していく

四万十町地域イノベーター養成講座のプロセス



- 四万十町地域イノベーター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターと一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指します。
- 対話を通じて一人ひとりのマイプロを共有し、一人ひとりが小さな実践を行い、それを受講生と大学生が相互にメンタリングを行いながら、「本当に自分がやりたいこと」に取り組んでいきます。
- こうしたプロセスを通じて「ジブンゴトをミンナゴト」にしていくための一人ひとりに法則を見つけ出していきます。
- 地域にイノベーションを起こすためには知識や方法論、メソッドはもちろん、本当に自分がやりたいこと、気になることを、仲間とともに小さな一歩を進めることから始まる、というのが私たちの基本的な考えとして講座を進めていきます。

問い合わせ先

四万十町役場 人材育成推進センター

担当：横山 光一・吉村 愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。